



一橋大学附属図書館概要

令和 2 (2020) 年度

目 次

1.	一橋大学附属図書館の機能・特色	1
2.	令和元年度の活動状況	4
3.	統計	14
4.	機関リポジトリ	16
5.	利用案内	21
6.	施設	23
7.	組織	27
8.	沿革	30

《表紙写真》 附属図書館 建物正面 (H27.4 撮影)

本概要に掲載された文章、写真、図版等の著作権は、特記あるものを除いて、すべて一橋大学附属図書館に属します。著作権者の許諾を得ずに、著作権法の定める範囲を超えて、本概要からの転載等を行うことは禁止されています。

1. 一橋大学附属図書館の機能・特色

一橋大学附属図書館は、資料を集中化させる中央図書館制度を採っており、商法講習所の開設以来 145 年を経た歴史の中で、社会科学を中心とした約 204 万冊の図書や約 17,100 タイトルの雑誌、60 にも及ぶ貴重なコレクションを蓄積してきた。

さらに、社会科学を中心とした電子ジャーナルや電子ブック、データベースの充実、情報リテラシープログラム等の展開を図り、本学の研究教育を支援している。

また、一橋大学機関リポジトリ(HERMES-IR)、ウェブサイトや展示等により、本学の研究成果や知的・文化的資産である図書館資料を国内外に発信するとともに、他大学図書館等との連携強化によりサービスの向上を目指している。

1.1 一橋大学附属図書館の機能

研究支援	世界的研究に資する社会科学に関する総合的資料の収集に努める。 一橋大学機関リポジトリにより本学教員の業績とその一次コンテンツへのアクセス利便性を向上させる。
教育・学修支援	学生の情報リテラシー能力向上を支援し、学生の主体的活動と連携した学生協働事業を行うとともに、電子的資料や情報機器を活用した学修環境整備を進める。
社会貢献	本学が所蔵する貴重なコレクションを電子化することにより、国内外へ広く公開する。また、展示を行うことにより、学内関係者にとどまらず、地域住民等へ公開する。

1.2 一橋大学附属図書館の特色

(1) 中央図書館制度

中核となる図書館に資料を集中配置する仕組みで、当館にはこの制度により、社会科学系の研究総合大学としての研究教育活動に沿った資料が体系的、網羅的に収蔵されてきた。これにより、教員と学生の情報アクセス格差が限りなく小さくなるとともに、資源の共有、資料費の有効活用が図られている。

(2) 開架 135 万冊

蔵書の大半の約 135 万冊の図書・雑誌を開架配置しており、自由に利用することができる。これにより、図書館利用者の学習・研究が迅速かつ効率的に行われる基盤が形成されている。

(3) 電子的なサービス

社会科学系を中心とした電子ジャーナル(約 25,000 タイトル)や電子ブック(約 19,600 タイトル)、各種データベース(約 70 種)を提供している。ウェブサイトで貸出予約や図書購入申込、文献複写・相互貸借申込ができる MyLibrary サービスや、社会科学系の電子リソースポータルを提供している。また、EZproxy システムにより、キャンパス外からも MyLibrary を通じて電子ジャーナル等にアクセスできる。

また、一橋大学機関リポジトリ(HERMES-IR)は、一橋大学の研究成果や多様なコンテンツを収集し、積極的に発信することを目指している。

館内には、利用者が快適・安全に利用できる PC(50 台)を設置するほか、学内利用者の持込ノート PC などを、学内無線 LAN によりキャンパスネットワークへ接続することができる。また、ノート PC やプロジェクタの館内貸出も行っている。

(4) 静謐な読書空間

現在の図書館のうち最も古い時計台棟は、昭和 5(1930)年に建てられ、平成 26(2014)年に改修工事が行われた。

大閲覧室(2 階)は内装の改修を行い明るく綺麗に生まれ変わったが、景観は当時のままに、図書館としての静謐な読書空間を提供している。

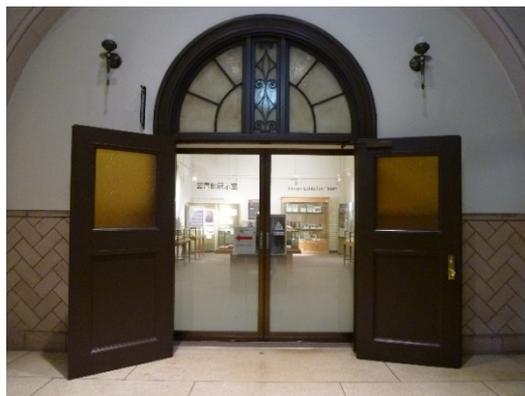


(5) 展示

図書館展示室では、常設展示として本学の歩みと所蔵コレクションを紹介している。

毎年秋の企画展示では、普段展示できない貴重資料等を公開するとともに、展示テーマに即した講演会を開催している。

図書館展示室は、時計台棟改修工事に伴い内装も新しくなり、平成 27(2015)年 5 月 17 日にリニューアルオープンした。



(6) 大学図書館としての全国的な役割

○ 外国雑誌センター館

国立大学に設置された分野別外国雑誌センター館(9 館)のひとつとして、昭和 60(1985)年から、国内未収集の社会科学系の外国雑誌等を体系的に収集・整理し、国内外の研究者等を対象にサービスを提供している。

○ EU 情報センター(EUi)

世界に約 500 機関(日本では 18 機関)ある欧州連合情報センター(European Info=EUi)のひとつとして、平成 3(1991)年から、EU 諸機関の主要な公式出版物や資料を備えている。

○ コンソーシアム等組織における連携活動

国立大学図書館協会、大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)、オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)などの会員館として、各組織の運営に携わっている。

(7) 他の大学等との図書館間連携・相互協力

○ 国内の大学図書館等との相互利用

次の各大学・研究機関の図書館との協定により、図書館の相互利用を行っている。

機関名	内容	開始時期
東京医科歯科大学 東京工業大学 東京外国語大学	「四大学連合憲章」に基づき、入館利用(館内閲覧、文献複写)のほか、特別聴講学生には館外貸出も可とする。	平成 15(2003)年 10 月
東京学芸大学 東京農工大学 電気通信大学	東京多摩地区の国立 5 大学の間で、入館利用を可とする。	平成 15(2003)年 10 月
慶應義塾大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
早稲田大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
上智大学	ILL による所蔵資料の現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
アジア経済研究所	ILL による所蔵資料の現物貸借を行う。	平成 21(2009)年 10 月
国際基督教大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 23(2011)年 4 月
津田塾大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 23(2011)年 7 月
アジア経済研究所	入館利用および個人貸出を可とする。	平成 26(2014)年 1 月

○ 海外の大学図書館との交流

平成 24(2012)年から中国人民大学図書館と交流協定を結び、図書館の相互利用などの交流を行っている。

(8) 情報リテラシー教育支援

図書館の利用案内や、文献の検索・入手等の方法、データベースの利用法などのガイドンスを開催している。

2. 令和元年度の活動状況

2.1 主なトピックス

(1) 台風 19 号の影響による書庫水損被害への対応

令和元年 10 月 12 日(土)の台風 19 号の影響により、雨量が第 3 書庫屋上の排水能力を超え、屋上の施錠扉の隙間から浸水を受けた。建物が接続している第 2 書庫も含めて書庫全フロアに流れ込み、床を通して階下の書架・資料への水損被害が発生した。



10/13(日) (左)第三書庫屋上, (右)第三書庫天井水漏れ

資料については、第 2 書庫・第 3 書庫配置資料 39 万冊のうち、約 2 万冊に水損被害が確認された。濡れがひどいものを中心に、書架から取り出して乾燥させながら、発生してしまったカビへの対処を継続して行った。

また、被災直後、書庫内は湿度が上昇し、カビの増殖が懸念されたため、国立民族学博物館の協力を得て、温度湿度データのモニタリングを行った。アドバイスに基づき、学内外から借用した多数の扇風機を効果的に配置し、空気を循環させ続けることにより、温湿度環境を平常の状態に戻すことができた。

被害発生以降、学内外からの支援や協力を得ながら職員総出で復旧作業にあたり、約 4 ヶ月を経て、利用者の書庫への入庫および水損資料の利用を再開することができ、水損被害への基本的な対応としては一定の成果を得た。



乾燥作業の様子

(2) 附属図書館ウェブサイトの更新

図書館利用の総合窓口ともいえるウェブサイトをリニューアルすることによって、①附属図書館および大学の発信力強化 ②研究基盤となる学術情報へのアクセシビリティの向上 ③ユニバーサルデザインへの対応 ④ウェブサイトの管理・運用にかかる職員の業務の軽量化・合理化 ⑤セキュリティの向上 を行った。令和2年2月3日(月)公開。



特に、トップページを整備することにより、オンライン蔵書目録 HERMES-Catalog、ディスカバリーサービス HERMES-Search、データベース／電子リソース等へのアクセスを容易にし、利用者が必要とする学術情報を、電子情報資源・印刷体を区別することなく短時間で統合的に発見できる環境を構築した。また、本学障害学生支援室と連携し、ウェブアクセシビリティに配慮した構造・デザインを採用することにより、障害の有無や能力差を問わず、より多くの人々に情報を届けられる環境を整備した。

(3) 導入ゼミガイダンスを全学部で実施

前年度に引き続き、令和元年度も全4学部を対象として、導入ゼミ(基礎ゼミ)の1コマを使い、図書館ガイダンスと館内実習(グループワーク)を実施した。学部一年生に図書館の使い方、論文の探し方を統一的に教えることで、今後のレポート作成等の際に図書館をより効率的に利用し、学修がスムーズに進むよう支援した。

(4) 附属図書館利用規則、利用細則の改正

令和元年6月1日付で附属図書館利用規則および利用細則を施行した。大きな変更点は、①延滞罰則の変更、②白書の禁帯出資料からの除外、③製本雑誌の貸出更新回数の変更である。延滞罰則は、返却日から遅れた日数分だけ貸出停止がかかるように変更した(猶予10日最大60日)。これに伴い、返却が大幅に遅れた際の入館禁止処分を廃止した。

(5) コード分類和書の移動

平成 28 年度に策定された資料再配置計画に基づき、本館 2 階に配置されていたコード分類和書 2000-2990 を、全館員およびワークスタディ学生を動員して本館 3 階へ移動した。これに伴い、本館 3 階コード分類和書 0000-1990, 4000-9990 の均し作業を実施した。

(6) 大閲覧室耐震工事

大閲覧室天井の耐震工事を行った。工事に伴い、令和 2 年 1 月 11 日から 3 月 31 日まで大閲覧室を閉室した。

(7) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 4 日より、グループ学習室・時計台棟コモングの臨時閉室、ブックポストでの返却受付、閲覧席の間引き等を行った。その後感染拡大が全国的に深刻化する中、4 月 10 日以降は臨時休館を行う一方、感染拡大防止のための措置を最大限講じた上で、本学教職員・学生に対し、事前申込制の貸出など、状況に応じ段階的にサービスを維持した。

(8) オープンアクセスウィーク関連パネル展示の実施

機関リポジトリの広報活動の一環として、世界的な潮流となっているオープンアクセスの周知イベントであるオープンアクセスウィーク(10 月 21 日～10 月 27 日)と連携して、参加型パネルやスライド上映などによりオープンアクセスおよび機関リポジトリの普及を促進するパネル展示(10 月 21 日～11 月 4 日)を実施した。

(9) HERMES-IR 館内限定公開コレクション専用端末の運用開始

インターネット公開にあたって必要となる権利処理が未了であるものの、すでに電子化済の貴重資料について、館内限定で利用できる「HERMES-IR 館内限定公開コレクション専用端末」の運用を 11 月より開始した。端末は本館 1 階情報検索コーナーに設置されており、「西川孝治郎文庫」および学園史関係資料が利用できる。

(10) 電子的情報資料整備のための取組み

限られた予算内で需要に即した図書館資料の整備を行うことを目的に、1)昨年度も好評だったオックスフォード大学出版局の電子ブックの有料トライアルを実施し、冊子購入経費を節減しつつ、約 14,000 タイトルを自由に利用できる環境を 6 か月間提供した。2)法律系の継続図書を冊子購入からデータベースに切り替えることにより、利便性の向上と経費節減を図ることができた。

(11)「日本語の歴史的典籍データベース」構築にかかる国文学研究資料館との連携

9月に、本学と大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館との間で「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書」を締結した。それに基づき、11月以降、幸田文庫と青木文庫の一部について、国文学研究資料館内でデジタル画像を作成し「日本語の歴史的典籍データベース」に収録・公開するための作業を実施している。

2.2 年間活動記録

(1) 情報リテラシー教育関連

① 図書館主催講習会

開催日	内容	開催回数	参加人数
4月2日(火) ～12日(金)	図書館ガイダンス＋ツアー 附属図書館職員が、①図書館の利用案内、②資料の探し方(図書・雑誌、論文、新聞記事)を説明した後、館内を案内。希望する学部生も参加可。	18	163
4月16日(火) ～5月13日(月)	導入ゼミガイダンス 附属図書館職員が、学部1年次の導入ゼミの1コマを使い、図書館ガイダンスと館内実習(グループワーク)を実施。	15	420
5月14日(火), 5月20日(月)	データベースガイダンス 東洋経済 DCL, eol, Web of Science, EndNote, 日経 NEEDS FQ のデータベース提供会社が講師として使い方を解説。	3	78
6月19日(水)	英語論文の書き方ガイダンス 海外の英文ジャーナルへ論文投稿を考えている大学院生向けのガイダンス。英語科と共催にて実施。	1	29
6月10日(月) ～19日(水)	卒論ツアー 学部3・4年生向けに卒論の検索方法の実演、出納方法の案内、書庫ツアーを実施。	8	31
7月3日(水)	ワークショップ:法学科目(憲法)の答案を書くために 法学科目の答案作成のための主に法学部1～2年生向けワークショップ。法学研究科と共催にて実施。	1	17
10月1日(火), 10月15日(火), 11月5日(火)	データベースガイダンス Web of Science, 日経 NEEDS FQ, 東洋経済 DCL, のデータベース提供会社が講師として使い方を解説。	3	59
10月16日(水)	ワークショップ:法学科目(刑事法)の答案を書くために 法学科目の答案作成のための主に法学部1～2年生向けワークショップ。法学研究科と共催にて実施。	1	6
10月21日(月)	CUP Author Workshop「How to Publish Your Articles/Books?」 ケンブリッジ大学出版局(CUP)からの提案により実施。	1	23

11月6日(水)	英語論文の書き方ガイダンス 海外の英文ジャーナルへ論文投稿を考えている大学院生向けのガイダンス。英語科と共催にて実施。	1	16
	合計	52回	842人

② オンデマンド・ガイダンス

教員からの依頼により、資料の探し方、データベースの使い方など、要望に合わせた内容で図書館職員が学生に解説する。

研究科等	実施回数	参加人数 (概数)
経営管理研究科・商学部	4	61
経済学研究科・経済学部	2	212
法学研究科・法学部	3	43
社会学研究科・社会学部	3	134
言語社会研究科	1	29
その他	4	57
合計	17回	536人

(2) 展示

① 図書館展示室

毎年11月の大学祭（一橋祭）の時期にあわせて、企画展示を開催している。通常は常設展示として、本学の源流である商法講習所の設立から東京商科大学を経て新制一橋大学設立に至る歴史を紹介する「一橋大学の歩み」に加え、当館の所蔵するコレクションを順次紹介している。

7月28日(日)	オープンキャンパス特別資料展示
11月5日(火) ～11月29日(金)	令和元年度企画展示「一橋祭いまむかし」



令和元年度企画展示 (左)展示の様子
(右)ポスター



② 読書案内小展示(Yomocca コーナー)

4月1日(月)～6月2日(月)	アカデミック・スキルズ 2019
4月1日(月)～5月31日(金)	森川俊夫先生追悼展示
4月26日(金)～6月30日(日)	渋沢栄一に関する小展示
6月3日(火)～7月8日(日)	ブックトーク「近世ヨーロッパの世界を復元する-史料が語ること、語らないこと」関連展示
8月6日(火)～9月30日(月)	働き方を考える
9月9日(月)～11月10日(日)	ブックトーク「民主化は物語の終わりではなく始まりだった」関連図書展示
10月1日(火)～11月10日(日)	落語沼
11月11日(月)～1月14日(火)	ジェンダーと科学
1月14日(火)～2月18日(月)	続 OAWeek
2月18日(月)～3月31日(日)	異文化コミュニケーション
3月11日(水)～(継続)*注)	感染症と社会

*注) 企画当初は4月で終了予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館をはさみ、引き続き展示予定

③ その他館内



日・EU フレンドシップウィーク展示「ユーロ硬貨のおモテとウラ」

7月9日(火)～8月2日(金)	令和元年度日・EU フレンドシップウィーク展示「ユーロ硬貨のおモテとウラ」(セミナールーム, Yomocca コーナー)
10月21日(月)～11月4日(日)	オープンアクセスウィーク関連パネル展示 (Yomocca コーナー)

(3) 行事

①	6月24日(月)	ブックトーク2019「近世ヨーロッパの村の世界を復元する― 史料が語ること, 語らないこと」開催(講師:秋山晋吾氏(一橋大学社会学研究科教授), 於:図書館会議室)
②	7月28日(日)	オープンキャンパス図書館見学
③	10月4日(金)	アジア経済研究所図書館&一橋大学図書館共同利用制度締結5周年記念講演会「民主化は物語の終わりではなく始まりだった― ブックトーク・編著者が語る『後退する民主主義, 強化される権威主義』」(講師:川中豪氏(アジア経済研究所地域研究センター長), 於:図書館会議室)
④	11月21日(木) ～25日(月)	令和元年度蔵書点検



(3) ①ブックトーク 2019



(3) ③アジ研図書館共同利用制度締結
5周年記念講演会

(4) 学外での講演・発表

6月20日(木)	第66回国立大学図書館協会総会 ・「海外派遣報告」報告(レファレンス係・尾城) ・「国立大学図書館協会賞表彰式」受賞スピーチ(古典資料係・堀越)
10月10日(木)	2019年度大学図書館職員短期研修「海外研修経験から見た大学図書館」講師(レファレンス係・尾城)
12月5日(木)	東京学芸大学SD研修「海外派遣報告会」講師(レファレンス係・尾城)

(5) 館内ワーキング・グループ、プロジェクトチーム活動

情報リテラシー教育ワーキング・グループ(通年)	主体的な学修活動促進のために、ガイダンス等を通じて、情報リテラシー教育を支援する。
図書館利活用ワーキング・グループ(通年)	学生選書会、ブックトーク、高本小展示等の学生向け読書推進活動を行う。
図書館業務システム定例会(通年)	図書館業務システムの運用課題に取り組む。
資料等再配置計画検討ワーキング・グループ(通年)	資料配置等における課題を洗い出し、第3期中期目標・中期計画に沿った適切な資料配置および効果的なスペース活用について検討する。
企画展示ワーキング・グループ	図書館展示室で開催する展示について、計画・実施する。
次期図書館業務システム調査検討グループ	令和2年度に更新を予定している図書館業務システムの要求要件を調査検討する。
附属図書館ウェブサイトリニューアルプロジェクトチーム	附属図書館ウェブサイトのリニューアルについて検討し、実施する。

(6) 館内勉強会・報告会等

①	7月25日(木) ～26日(金)	図書修理実習 (古典資料係・篠田)
②	3月12日(木), 18日(水)	CAT2020 勉強会 (目録情報係・田波)

(7) 広報紙 BELL の発行

No.175 2019-04-15		2019年度大学院生の現物貸借費用の公費負担サービスを開始します; ガイダンスのお知らせ; 新規導入データベースのお知らせ; 資料の返却が遅れた際のルールが変わります!; 2019年度附属図書館利用案内の表紙決定
No.176 2019-05-28		英語論文の書き方ガイダンス; 新規導入データベースのお知らせ; 一橋大学附属図書館ブックトーク2019: 近世ヨーロッパの村の世界を復元する—史料が語ること, 語らないこと; 卒業論文ツアー: そうだ卒論, 見に行こう。
No.177 2019-06-17		一橋大学附属図書館 EU 展示 2019: ユーロ硬貨のおモテとウラ; Workshop: 法学科目(憲法)の答案を書くために; 夏休み長期貸出のお知らせ
No.178 2019-07-17		Oxford Scholarship Online: 昨年度好評につき, 今年も契約しました。; 傘寿記念基金文庫に新しい本が入りました; 「西洋古典資料保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」の取り組みが国立大学図書館協会賞を受賞!; 開催報告: 一橋大学附属図書館ブックトーク2019: 近世ヨーロッパの村の世界を復元する—史料が語ること, 語らないこと
No.179 2019-09-13		民主化は物語の終わりではなく始まりだった: ブックトーク・編著者が語る『後退する民主主義, 強化される権威主義』; 秋・冬学期の図書館ガイダンス; 新規導入電子リソースのお知らせ: The Making of the Modern World: Part 3(Gale)他; 令和元年度ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI: 貴重書・古文書の専門家になろう!: 解読・調査・保存・修復に挑戦

<p>No.180 2019-10-10</p>		<p>Open Access Week 2019; データベーストライアル実施中！ : WestlawNext 他</p>
<p>No.181 2019-10-10</p>		<p>英語論文の書き方ガイダンス; データベースガイダンス; 令和元年度一橋大学附属図書館企画展示 : 一橋祭いまむかし</p>
<p>No.182 2019-11-26</p>		<p>冬休み長期貸出のお知らせ; ブックトーク・編著者が語る『後退する民主主義, 強化される権威主義』: 民主化は物語の終わりではなく始まりだった を開催しました; 実施報告 : Open Access Week × HERMES-IR; 書庫資料の水損被害について</p>
<p>No.183 2020-01-27</p>		<p>春休み長期貸出のお知らせ; HERMES-IR 館内限定公開コレクション専用端末; 企画展示「一橋祭いまむかし」を開催しました; 天井工事に伴う大閲覧室の閉室について; 本館 2 階閲覧席利用再開のお知らせ</p>
<p>No.184 2020-02-03</p>		<p>図書館ウェブサイトを更新しました</p>
<p>No.185 2020-03-25</p>		<p>院生向け図書館ガイダンス; 資料の検索は HERMES-Search を使おう</p>

3. 統 計

3.1 所蔵資料状況

(1) 所蔵資料数

令和 2(2020)3 月 31 日現在

資料区分		内訳		合計
図書(冊)	和	1,094,427		2,037,999
	洋	943,572		
雑誌(種類)	和	6,975		17,081
	洋	10,106		
電 子 的 資 料	電子ブック(タイトル)	和	2,318	19,605
		洋	17,287	
	電子ジャーナル(種類)	出版社	7,170	25,074
		その他	17,904	
	データベース(種類)	国内	19	69
		国外	50	

※図書・雑誌の「和」は中国語，韓国語を含む

(2) 年間受入資料数

資料区分	令和元(2019)年度		参考:平成 30(2018)年度	
図書(冊)	和	9,744	和	10,351
	洋	6,538	洋	4,513
	計	16,282	計	14,864
雑誌(種類)	和	1,311	和	1,333
	洋	810	洋	1,256
	計	2,121	計	2,589

※図書・雑誌の「和」は中国語，韓国語を含む

※「雑誌」には，個別契約の電子ジャーナルを含む

(3) 図書館資料費(専門図書費等・決算)

	令和元(2019)年度	参考:平成 30(2018)年度
専門図書費等	317,069 千円	320,680 千円

※他部局からの振替執行分を含む

3.2 利用状況

(1) 開館日数と入館者数

	令和元(2019)年度		参考:平成30(2018)年度	
開館日数	336日		337日	
入館者数	平日	244,852	平日	269,633
	休日	41,608	休日	44,559
	計	286,460	計	314,192

(2) 館外貸出冊数

	令和元(2019)年度		参考:平成30(2018)年度	
館外貸出冊数	学生	104,297	学生	106,503
	教職員	10,186	教職員	10,773
	学外者	15,590	学外者	1,552
	計	116,073	計	118,826

(3) 図書館相互協力

	令和元(2019)年度		参考:平成30(2018)年度	
文献複写:受付 (件数)	国内・大学図書館	2,239	国内・大学図書館	2,391
	国内・その他	86	国内・その他	79
	国外	27	国外	22
	計	2,352	計	2,492
文献複写:依頼 (件数)	国内・大学図書館	996	国内・大学図書館	1,093
	国内・その他	56	国内・その他	58
	国外	112	国外	23
	計	1,164	計	1,174
現物貸借:受付 (冊数)	国内・大学図書館	644	国内・大学図書館	655
	国内・その他	32	国内・その他	8
	国外	0	国外	0
	計	676	計	663
現物貸借:依頼 (冊数)	国内・大学図書館	1,024	国内・大学図書館	1,007
	国内・その他	31	国内・その他	48
	国外	12	国外	1
	計	1,067	計	1,056

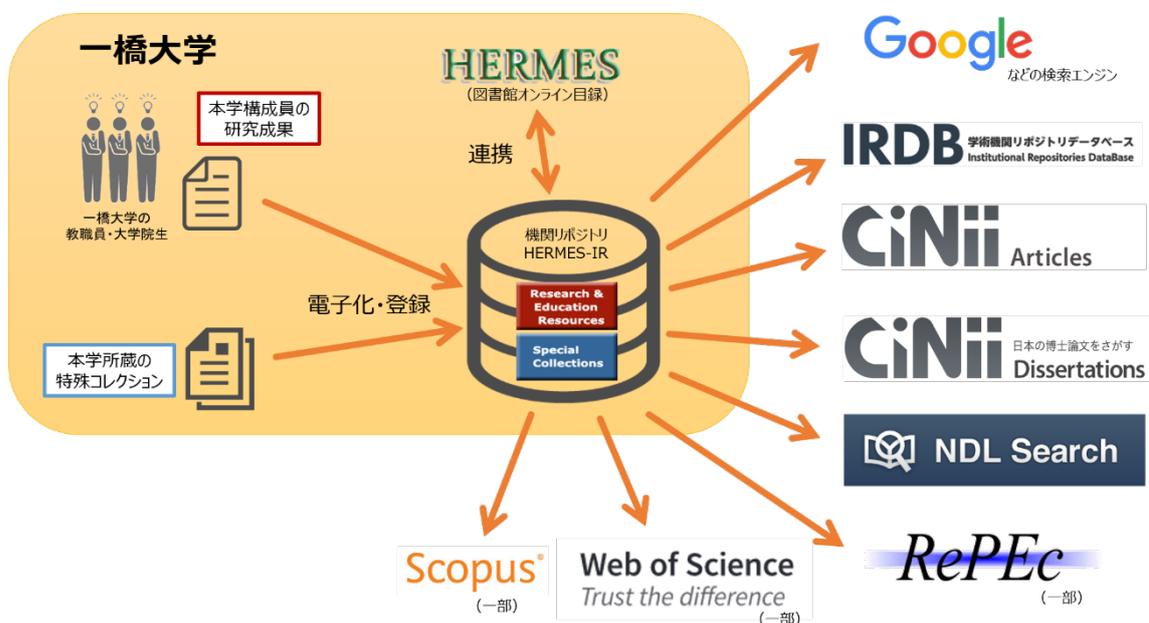
4. 機関リポジトリ

4.1 一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”の概要

本学の研究・教育活動の成果をインターネットで広く世界に発信するため、平成19(2007)年5月から一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”を公開している。

機関リポジトリとは、機関(大学)で生産された研究成果の全文を電子的に保存し、発信するインターネット上の集積庫のことである。

HERMES-IR は附属図書館長を統括責任者とし、学術・図書部が運営を支援している。また、国立情報学研究所をはじめとする他機関と協力して、学術情報の流通を促進する機能を果たしている。



(1) Research & Education Resources

一橋大学の研究・教育活動の成果を電子媒体で収集・保存し、インターネット上で全文データを発信している。外部のデータベースからメタデータ(著者名, 論題, 雑誌名など)をハーベスト(プログラマ的なメタデータの収集)されることにより、学外のサイトでも HERMES-IR に登録されたデータが検索されるようになっている。

(2) Special Collections

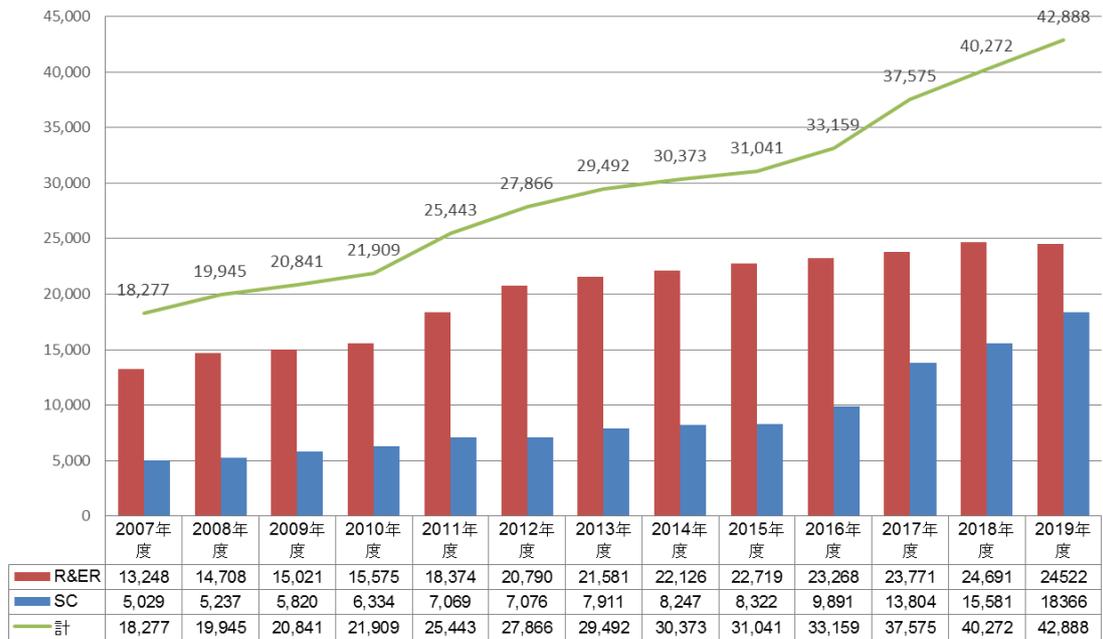
本学が所蔵する特殊コレクションを電子画像化し、インターネット上で発信している。社会科学史上、貴重な古典籍や数々の原史料(写真, 図譜類, 文書類, 手稿類, 博物資料等)を電子化することにより、資料保存と公開利用のバランスを図っている。学園史関係資料のアーカイブとしての役割も担っている。

4.2 統計

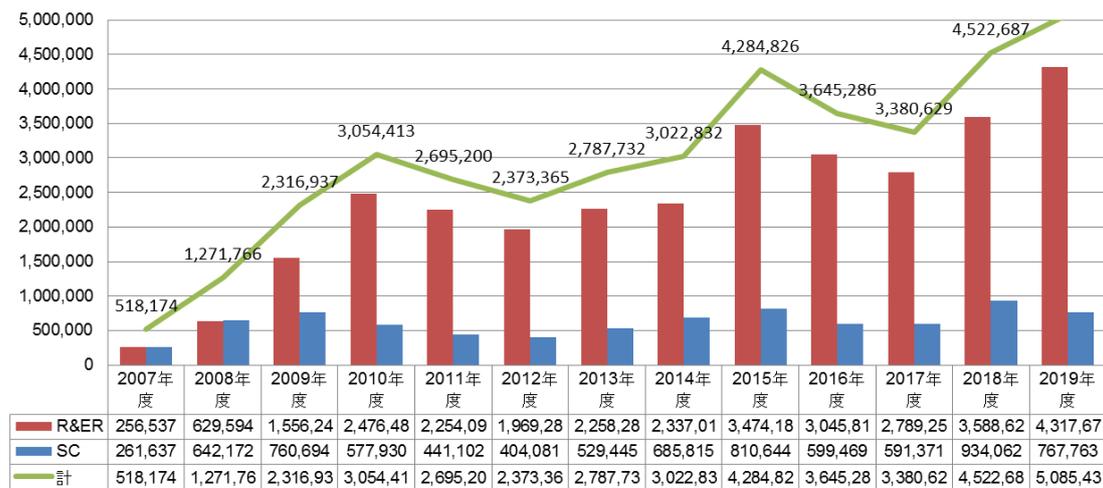
■ R&ER : Research & Education Resources

■ SC : Special Collections

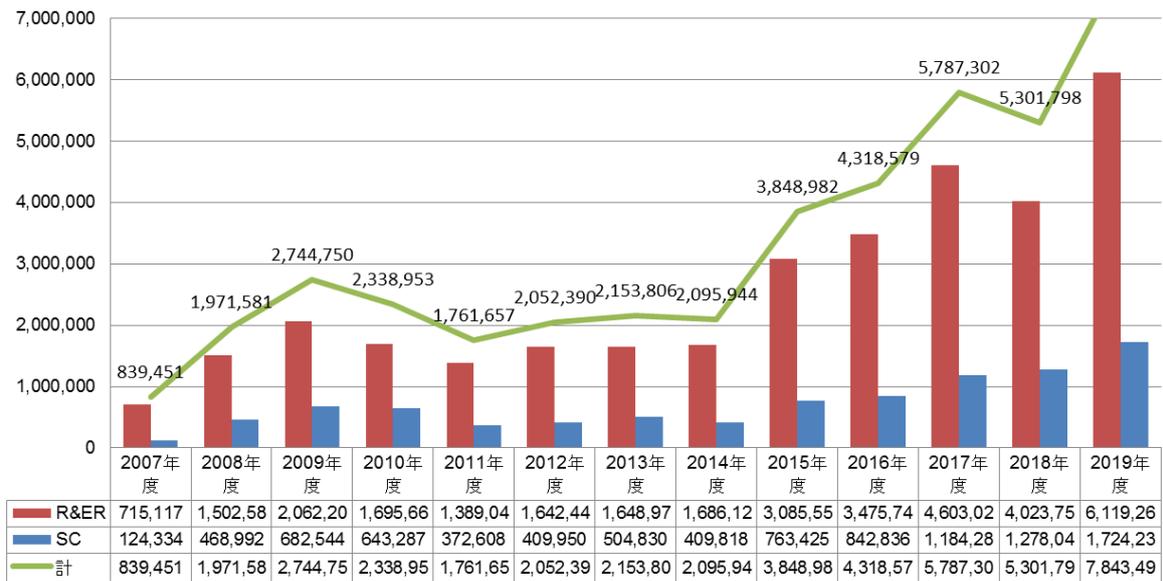
(1) コンテンツ累計登録数〔件〕



(2) 本文閲覧数〔ページビュー〕



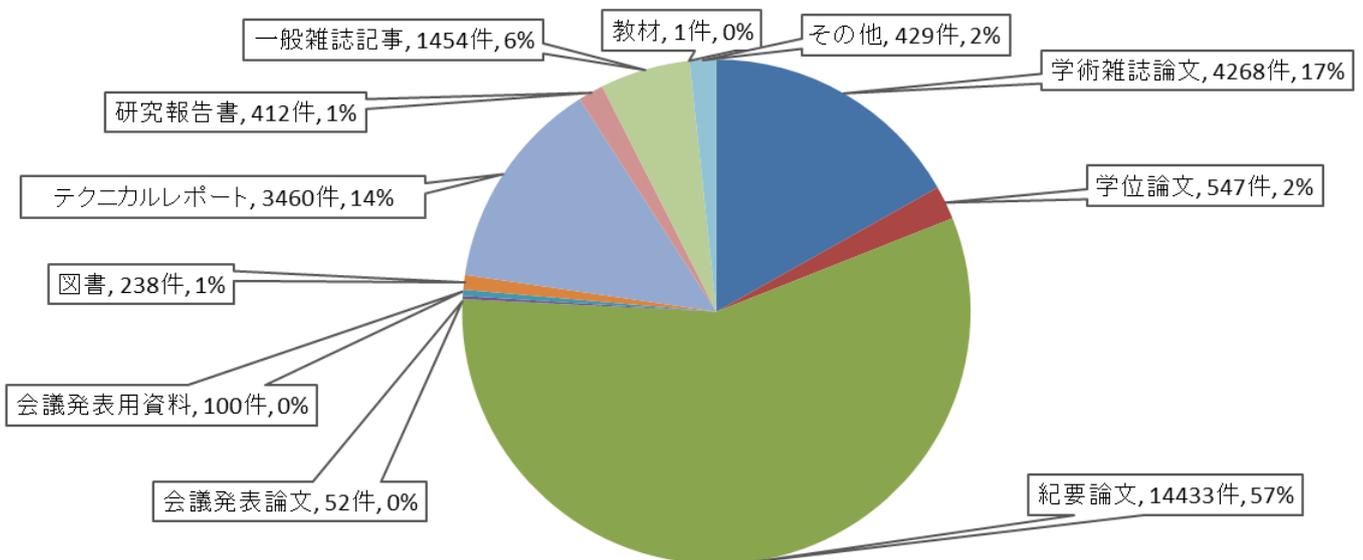
(3) 目録閲覧数〔回〕



4.3 Research & Education Resources

(1) 登録コンテンツ内訳

令和 2(2020)年 3 月 31 日現在



(2) 外部データベース等との連携

HERMES-IR は、外部データベース等と以下のような連携を行うことで、視認度や利便性の向上を図っている。

- サーチエンジン(Google 等)からの検索・リンク
- 日本の機関リポジトリ・ポータル“IRDB”からの検索・リンク
- 「一橋大学研究者情報」(HRI : Hitotsubashi Researchers Information) データベースとの相互リンク
- 各専門分野別のリポジトリやデータベースとの連携(コンテンツ提供, リンク)
 - ・ RePEc : Research Papers in Economics (経済学分野の世界的な主題リポジトリ)
 - ・ Westlaw Japan (米国トムソン・ロイターと新日本法規出版株式会社による法律情報総合データベース)

(3) デジタル識別子(DOI)の付与

機関リポジトリ登録コンテンツの利用促進および検索環境の向上を図るため、平成 28(2016)年度より、本学紀要論文、博士論文(平成 25(2013)年度以降学位授与分)を、令和元年度より本学学園史資料のうち、雑誌や図書資料を対象にジャパンリンクセンター(JaLC)の DOI(Digital Object Identifier)の付与を実施している。

(4) 「一橋大学オープンアクセス方針」の策定

本学の研究力を広く世界に発信し、学際的な研究やイノベーションの創出を促し、その成果を社会に還元するため、平成 29(2017)年 10 月に、研究成果を一橋大学機関リポジトリ HERMES-IR によって公開することを趣旨とした「一橋大学オープンアクセス方針」を策定し、平成 30(2018)年 4 月 1 日より実施している。

4.4 Special Collections

近代日本経済史・経営史デジタルアーカイブ

- | | |
|-------------|------------------|
| ・修学旅行等報告書 | ・大伝馬町長谷川木綿店古帳 |
| ・商品陳列所旧蔵報告書 | ・日本郵船株式会社社会計帳簿類 |
| ・農商務省調査資料 | ・第三回内国勸業博覧会出品解説書 |
| ・商業慣習調査資料 | ・江戸期商業関係資料 |
| ・西川孝治郎文庫 | ・明治期商業関係資料 |
| ・札差関係資料 | |

近現代日本の専門職業人養成教育資料データベース

本学の講義ノート、受講ノート、教材等の教育・研究資料のコレクション

研究者手稿類デジタルアーカイブ

- ・大塚金之助(1892-1977)
- ・左右田喜一郎(1881-1927)
- ・杉村広蔵(1895-1948)
- ・福田徳三(1874-1930)
- ・古川栄一(1904-1985)
- ・三浦新七(1877-1947)

学園史関係資料

一橋大学にゆかりのある資料(関係図書, 論文・記事, 講演等発表資料ほか)

社会科学古典資料センター所蔵資料

- ・社会科学古典資料センター所蔵インキュナブラ
- ・フランクリン文庫
- ・メンガー文庫

附属図書館所在肖像画等コレクション

一橋大学附属図書館に所在する肖像画, 銅像, レリーフ等のコレクション

井藤半彌旧蔵ドイツ紙幣等コレクション

一橋大学元学長 井藤半彌(1894-1974)が, ベルリン留学中(大正 11(1922)年 11 月-大正 14(1925)年 3 月)に収集した, インフレ期(1922-23)のドイツ紙幣, 緊急通貨(Notgeld), また, それとほぼ同時期に中国大陸で使用された法幣, 軍票のコレクション

奎星帖

明治年間の広告を中心に, 記事の切り抜き・肖像写真・領収書・名刺・封筒・はがき・番付・本の題簽や見返し・短冊・扇面図・江戸時代の文書の断簡等雑多なものを貼り込んだスクラップブック。山寺清二郎が製作

戦前期アジア諸国写真コレクション

陸軍経理学校が研究のために収集した, 昭和初期から第二次世界大戦期にかけてのアジア・太平洋諸地域の風俗・風景・民族・産業等の 3,705 枚の写真コレクション

幸田文庫

文豪幸田露伴の弟で, 1922-1940 の間本学で日本経済史を担当した幸田成友博士(1873-1954)が蒐集した「幸田文庫」の一部。武鑑類の和装本が大半を占める

都留重人名誉教授寄贈資料

一橋大学元学長, 一橋大学経済研究所元所長 都留重人が私蔵していた手稿, 書簡, 写真を含む私文書などのコレクション

日本・旧満州鉄鋼業資料(水津利輔氏旧蔵資料)

昭和製鋼所の拡充を中心とする満州鉄鋼業の建設およびその動因となった「日満支」の範囲での鉄鋼増産計画の立案に関する資料

剣友会資料(一橋大学剣道部 OB 会資料)

一橋大学剣道部(明治 34(1901)年 5 月創部)の初代師範である, 鹿島神傳直心影流正統 15 代一徳斎山田次朗吉先生の著書および関連資料

5. 利用案内

5.1 開館時間・各種サービス案内

	平日(月～金)		土・日・祝	
	授業期	休業期	授業期	休業期
図書館本館	8:40～22:00	8:40～19:00	9:30～20:00	9:30～19:00
雑誌棟	8:40～21:30	8:40～18:30	9:30～19:30	9:30～18:30
大閲覧室	8:40～21:30	8:40～18:30	-	
時計台棟コモンズ	8:40～20:00	8:40～17:00	-	
名誉教授閲覧室	8:40～21:30	8:40～18:30	-	
書庫	(入庫)	9:00～16:30		-
	(出納)	9:00～16:45 (注1)		
貴重資料利用	9:00～17:00	9:00～12:00, 13:00～17:00	-	
マイクロ資料利用	9:00～17:00 (注2 17:00～ 閉館30分前)	9:00～12:00, 13:00～17:30	(注2 9:30～閉館30分前)	
ヘルプデスク(レファレンス・文献複写・現物貸借)	9:00～17:00	9:00～12:00, 13:00～17:00	-	
利用証発行	9:00～17:00		-	

(注1) 学内者は、事前申込により平日夜間、土日祝日に書庫資料の閲覧が可能

(注2) 学内者は、事前申込により平日夜間、土日祝日にマイクロ資料の閲覧が可能

5.2 利用の範囲

利用者区分	利用証有効期間	閉架書庫 入庫	館外貸出
教職員	在職期間	○	○
学部学生	在学期間	×	○
大学院学生	在学期間	○	○
名誉教授	終身	○	○
元専任教員	交付日から1年間(更新可)	○	○
研究員	在籍期間	○	○
学部卒業生	交付日から1年間(更新可)	×	×
大学院修了または単位修得後退学者	修了または退学後5年間	○	○
大学院修了または単位修得後退学5年以上	交付日から1年間(更新可)	×	×
他機関の研究者(館長許可)	交付日から1年間(更新可)	○	○
大学功労者	終身	×	○
学外者	当日限定	×	×

5.3 館外貸出冊数・貸出期間

利用者区分	貸出 冊数	貸出期間		
		学習用図書	一般図書	製本雑誌
教職員	70冊	2週間	年度末まで	1週間
学部学生	10冊	2週間	2週間	1週間
大学院学生	30冊	2週間	2か月	1週間
名誉教授	70冊	2週間	年度末まで	1週間
元専任教員	10冊	×	1か月	1週間
研究員	30冊	2週間	2か月	1週間
大学院修了または単位修得後退学5年以内	10冊	×	1か月	1週間
他機関の研究者(館長許可)	10冊	×	1か月	1週間
大学功労者	10冊	×	1か月	1週間

6. 施 設

6.1 建物

附属図書館施設は国立・西キャンパスにあり、昭和 5(1930)年竣工以来の様々な建物で構成されている。

(1) 時計台棟

- ・昭和 5(1930)年竣工
- ・昭和 60(1985)年, 平成 12(2000)年改修, 平成 27(2015)年耐震改修竣工
- ・地上 2 階地下 1 階, 時計台
- ・図書館使用部分床面積 1,931 m²**

※ 時計台棟には、図書館施設のほか、教員研究室も配置されている。

昭和 5(1930)年、本学の前身である東京商科大学の谷保村(現・国立市)移転と共に建設された。西キャンパスの中心に位置し、時計台と 2 階大閲覧室は、今日においても一橋大学のシンボリック的存在である。1 階は主に展示や研修のためのスペースにあてられている。

平成 24(2012)年に時計台棟コモンズを開設し、グループ学習などアクティブラーニングに対応する施設として年間 1 万人を超える多くの利用がある。

令和元年度に、施設整備費補助金により、大閲覧室の天井面に落下防止ネットを張る改修工事を行い、大規模地震への安全対策が強化された。

2階	大閲覧室
1階	エントランスホール, 附属図書館会議室, 時計台棟コモンズ, 図書館展示室, 図書館セミナールーム, 名誉教授閲覧室, 保存修復室, 学園史資料室
地階	書類保管庫



時計台棟外観



時計台棟から図書館本館自動扉を見る

(2) 図書館本館

- ・平成 12(2000)年竣工
- ・地上 4 階地下 1 階, 一部 5 階
- ・延床面積 6,693 m²

旧図書館本館の出納および事務スペース(時計台棟背面部分)と第一書庫を取り壊した跡に, 新しい図書館本館として平成 12(2000)年に竣工, 開館。

100 万冊規模の開架図書に加えて, 50 台の情報検索端末や読書スペース Yomocca が設置されている。

平成 29 年度には, 劣化していた各フロアのトイレについて, 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金による改修があり, 節水型器具の整備等, 機能・美観が大きく改善された。

5階	機械室
4階	貴重資料室, マイクロ資料室, 事務室
3階	開架閲覧室
2階	開架閲覧室, グループ学習室, 大閲覧室入口
1階	カウンター(受付/貸出/返却/ヘルプデスク), 参考図書コーナー, 情報検索コーナー, 読書スペース Yomocca, 書庫入口, 雑誌棟連絡通路, 事務室
地階	開架書庫, 機械室



読書スペース Yomocca(本館1階)



情報検索コーナー(本館1階)



貴重資料室(本館4階)

(3) 雑誌棟

- ・昭和 55(1980)年竣工(地上 3 階現低層部分)
- ・平成 8(1996)年増改築竣工
- ・地上 5 階地下1階
- ・延床面積 4,246 m²

閉架中心の研究図書館であった旧・本館(現・時計台棟)に対して、学習図書館(新館(当時))として昭和 55(1980)年に開館。平成 8(1996)年の増改築後は、平成 12(2000)年の現・本館開館まで、本館機能を果たした。

現在は、雑誌、新聞等の逐次刊行物および統計、白書、法令資料等が集中配置されている。また、社会科学系外国雑誌センター館雑誌および EU 資料も配置されている。

5階	開架閲覧室, グループ学習室
4階	開架閲覧室
3階	開架閲覧室
2階	開架閲覧室
1階	開架閲覧室, 新聞コーナー, 事務室, 本館連絡通路
地階	開架書庫, 機械室



新着雑誌コーナー(雑誌棟1階)

(4) 第二書庫

- ・昭和 39(1964)年竣工
- ・平成 21(2009)年耐震改修竣工
- ・地上 4 層
- ・延床面積 846 m²



第三書庫(4階)

(5) 第三書庫

- ・昭和 58(1983)年竣工
- ・地上 4 層地下 1 層
- ・延床面積 885 m²

書庫の出入口にはカード認証リーダを設置し、教職員および大学院生が入庫できるようになっている。学部学生等は、職員の出納により書庫の資料を利用できる。

令和元(2019)年 10 月の台風 19 号の影響により、雨量が屋上の排水能力を超え、屋上の施錠扉の隙間から第二書庫も含めて全フロアに浸水を受けたが、被災後速やかに、屋上

からの浸水防止および排水力向上のための補修や浸水防止のための改修工事が行われた。

なお、「第一書庫」は現・本館新築のため平成 11(1999)年に解体されたが、「第二書庫」「第三書庫」の呼称はそのまま踏襲した。

(6) 小平研究保存図書館

- ・平成 26 年(2014)年改修
- ・地上 2 層地下 1 層
- ・延床面積 2,131 m²



小平研究保存図書館

平成 26 年度国立大学法人施設設備整備費補助金(国立大学改革基盤強化促進費)により、「近現代日本経済史・経営史のためのアーカイブスの整備等」事業が採択され、書架の整備およびアーカイブスのための環境整備を行った。

6.2 閲覧座席数, 収容可能冊数, 床面積(中央図書館のみ)

令和 2(2020)年 5 月 1 日現在

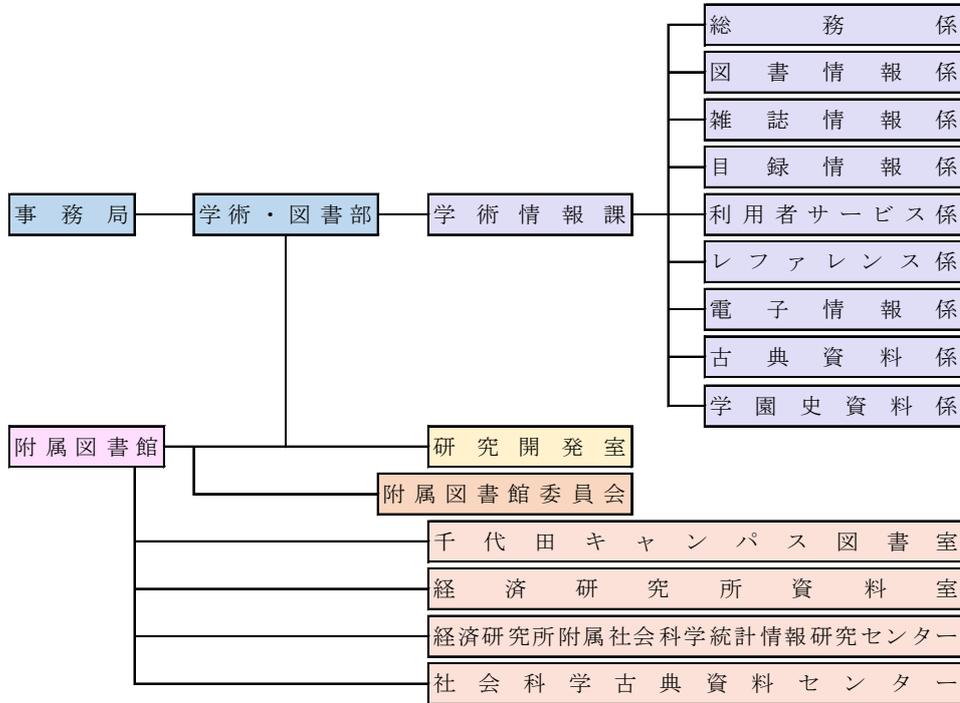
	閲覧座席数	収容可能 冊数 (千冊)	床面積(m ²)						
			延床面積	サービス用途			管理用途		その他
				閲覧	情報	その他	書庫	事務	
時計台棟	381		1,931	694		174	87	272	704
本館	203	882	6,693	2,493	105	129	1,202	835	1,929
雑誌棟	214	674	4,246	2,532	3	37	455	186	1,033
第二書庫		172	846				846		
第三書庫		229	885				885		
連絡通路等			201						201
小平研究保存 図書館	24	313	2,131	43		41	1,330	123	594
合計	822	2,270	16,933	5,762	108	381	4,805	1,416	4,461

*1 棚 (90cm) 25 冊で計算

7. 組織

7.1 組織機構図

令和2(2020)年5月1日現在



7.2 学術・図書部職員の配置

() の()内の数は、外数で兼務を示す。

	一般職員		非常勤職員	計	備考
	図書系	その他			
部長		1		1	
課長		(1)		(1)	部長兼務
課長代理	1			1	
専門員	1	1		2	
専門職員	(1)	1		1(1)	うち1名千代田キャンパス兼務
総務係		1	1	2	
図書情報係	2(1)		1	3(1)	うち1名経済研究所兼務
雑誌情報係	2		4	6	
目録情報係	1(1)		6	7(1)	うち1名経済研究所兼務
利用者サービス係	2		11	13	うち時間外開館職員6
レファレンス係	3		3	6	
電子情報係	2		1	3	
古典資料係	2		3	5	
学園史資料係	1(1)		1	2(1)	専門員兼務
助手		1		1	一橋ジャーナル編集
計	17(4)	5(1)	31	53(5)	

7.3 附属図書館研究開発室

附属図書館研究開発室は、図書館機能の強化に関する様々な調査研究を行うため、平成24(2012)年4月に設置した組織である。業務内容の見直しおよび効率化を図るため、平成30(2018)年10月に一橋大学附属図書館研究開発室規則の一部改正を行った。

(1) 役割

- 歴史的資料の保存・公開に関する調査研究
- 附属図書館の情報発信の機能強化に関する調査研究

(2) 体制

令和2(2020)年4月1日現在

	氏名	所属・職名	任期
室長	三隅 隆司	附属図書館長	令 2. 4. 1～令 4. 3.31
室	石居 人也	社会学研究科教授	平 30.12.10～令 4. 3.31
	大月 康弘	経済学研究科教授	令 2. 4. 1～令 4. 3.31
	加藤 圭木	社会学研究科准教授	平 30.12.10～令 4. 3.31
員	佐藤 仁史	社会学研究科教授	令 2. 4. 1～令 4. 3.31
	友部 謙一	経済学研究科教授	令 2. 4. 1～令 4. 3.31

(3) 成果の公表：『一橋大学附属図書館研究開発室年報』

研究開発室の年間の活動および研究成果を公表することを主たる目的とし、併せて図書館活動に関わる事業・調査・研究報告を行うため、平成24(2012)年度に『一橋大学附属図書館研究開発室年報』を創刊、2020年3月 No.8を発行。

一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”等で、本文の電子公開を行っている。

・PDF ファイル(一橋大学機関リポジトリ HERMES-IR)
<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/25649>



7.4 附属図書館委員会名簿

令和 2(2020)年 4 月 1 日現在

所属・職名		氏名	任期
附属図書館長	教 授	三 隅 隆 司	令 2.4.1～令 4.3.31
役員補佐	教 授	塩 路 悦 郎	平 30.4.1～令 2.11.30
経営管理研究科	教 授	荒 井 耕	平 31.4.1～令 3.3.31
〃	教 授	島 本 実	令 2.4.1～令 4.3.31
経済学研究科	准 教 授	真 野 裕 吉	平 31.4.1～令 3.3.31
〃	准 教 授	高 久 玲 音	令 2.4.1～令 4.3.31
法学研究科	准 教 授	相 澤 美 智 子	平 31.4.1～令 3.3.31
〃	准 教 授	竹 村 仁 美	令 2.4.1～令 4.3.31
社会学研究科	教 授	坂 上 康 博	平 31.4.1～令 3.3.31
〃	教 授	阪 西 紀 子	令 2.4.1～令 4.3.31
言語社会研究科	教 授	星 名 宏 修	平 30.4.1～令 4.3.31
経済研究所	教 授	宇 南 山 卓	平 31.4.1～令 3.3.31
全学共通教育教員	教 授	台 坂 博	令 2.4.1～令 4.3.31
〃	教 授	小 岩 信 治	令 2.4.1～令 4.3.31
社会科学古典資料センター	准 教 授 (兼 務)	森 宜 人	令 2.4.1～
学術・図書部	部 長	大 出 実 樹 雄	平 31.4.1～

7.5 歴代附属図書館長

初 代	高垣 寅次郎	大 15.11.29～昭 11.2.10	第 19 代	外池 正治	平元. 6.16～ 3. 6.30
第 2 代	本間 喜一	昭 11. 2.10～12. 3. 5	第 20 代	宮川 公男	平 3. 7. 1～ 6. 6.30
第 3 代	吹田 順助	昭 12. 3. 5～19. 8.11	第 21 代	中村 政則	平 6. 7. 1～ 9. 6.30
第 4 代	山田 雄三	昭 19. 8.11～21.12. 1	第 22 代	石 弘光	平 9. 7. 1～10.11.30
第 5 代	村松 恒一郎	昭 21.12. 1～25. 5.18	第 23 代	安藤 英義	平 10.12. 1～13.11.30
第 6 代	山口 茂	昭 25. 5.18～26. 6.18	第 24 代	池間 誠	平 13.12. 1～16.11.30
第 7 代	加藤 由作	昭 26. 6.18～28. 7.14	第 25 代	斎藤 修	平 16.12. 1～20.11.30
第 8 代	村松 恒一郎	昭 26. 7.14～35. 3.31	第 26 代	渡辺 雅男	平 20.12. 1～22.11.30
第 9 代	高橋 泰蔵	昭 35. 4. 1～36. 4.16	第 27 代	江夏 由樹	平 22.12. 1～26. 3.31
第 10 代	森田 優三	昭 36. 4.16～40. 3.31	第 28 代	青木 玲子	平 26. 4. 1～26.11.30
第 11 代	馬場 啓之助	昭 40. 4. 1～43. 3.31	第 29 代	山部 俊文	平 26.12. 1～30.3.31
第 12 代	板垣 興一	昭 43. 4. 1～46. 3.31	第 30 代	大月 康弘	平 30.4.1 ～令 2.3.31
第 13 代	小泉 明	昭 46. 4. 1～50. 9.10	第 31 代	三隅 隆司	令 2.4.1～
第 14 代	増淵 龍夫	昭 50. 9.10～53. 9. 9			
第 15 代	木村 増三	昭 53. 9.10～56. 9. 9			
第 16 代	大川 政三	昭 56. 9.10～59. 9. 9			
第 17 代	川井 健	昭 59. 9.10～61.11.30			
第 18 代	森田 哲彌	昭 61.12. 1～平元.6.15			

8. 沿革

1875年	8月	森有禮, 銀座尾張町に商法講習所を私設する。
1884年	3月	商法講習所は農商務省の所管に移り, 東京商業学校と改称する。
1885年	9月	東京商業学校, 東京外国語学校, 同所属高等商業学校を併せて, 新たに東京商業学校と称し, 神田区一ツ橋通町の旧東京外国語学校舎に開設する。 初めて図書室が設けられ, 図書掛 3 名を置く。
1887年	10月	高等商業学校と改称する。
1894年		図書館が新築される。
1899年	4月	附属外国語学校が再び分離独立し, 東京外国語学校(現・東京外国語大学)となる。
1902年	4月	勅令により東京高等商業学校と改称する。
1909年	2月	新図書閲覧所(木造 2 階建)が開館する。
1917年	5月	御大典記念図書館(鉄筋 4 階建書庫, 木骨煉瓦張事務室および閲覧室)が竣工する。
1920年	4月	大学に昇格し, 東京商科大学が発足する。
1923年	9月	関東大震災により, 図書館も一部破壊する。
1926年	9月	勅令により官制上初めて, 本学に附属図書館が設置される。館長と司書 2 名を置く。
1930年	10月	新キャンパス(現・国立市)で附属図書館が開館する。
1936年	4月	東京府北多摩郡小平村(現・小平市)に図書館予科分館(後の小平分館)が開館する。
1944年	10月	東京産業大学と改称する。
1947年	3月	大学名を東京商科大学に復する。
1949年	5月	国立学校設置法が公布され, 一橋大学が発足。 附属図書館の事務組織が確立する。事務長および本館に 4 係(総務, 洋書, 和漢書, 閲覧), 分館に図書係が置かれる。
1969年	4月	小平分館(鉄筋 2 階建)が新築され, 新小平分館が開館する。
1977年	3月	図書館貴重書書庫(現・社会科学古典資料センター建物)が竣工する。
1978年	4月	社会科学古典資料センターが発足し, 図書館長がセンター長を併任する。 部課長制を敷き, 整理課, 閲覧課の 2 課を置く。
1981年	6月	情報処理センター汎用機を利用し, 新館閲覧業務の電算処理を開始する。
1991年	2月	図書館業務電算システム“HERMES”を導入する。
1996年	10月	附属図書館ウェブサイトを開設する。
1997年	4月	小平分館を廃止し, 小平図書収蔵庫とする。
	6月	Web による OPAC および CD-ROM 検索サービスを開始する。
2000年	10月	附属図書館新本館が開館する。新館を雑誌棟に改称する。
2001年	11月	一橋デジタルアーカイブス“HDA”を公開する。
2004年	4月	国立大学法人に移行する。旧附属図書館事務部と事務局研究協力部門および情報処理部門を併せて「学術・図書部」に改組される。
2007年	5月	一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”を公開する。
2014年	1月	小平図書収蔵庫が改修される。
	4月	小平研究保存図書館を設置する。
2020年	2月	附属図書館ウェブサイトをリニューアル, HERMES-Search をメイン検索ツールとする。

一橋大学附属図書館概要 令和2(2020)年度 2020年7月発行

編集発行：一橋大学附属図書館

〒186-8602 東京都国立市中2丁目1番地

TEL 042-580-8223 MAIL lib-dm@dm.hit-u.ac.jp

Website： <https://www.lib.hit-u.ac.jp/>

Twitter： https://www.twitter.com/hito_lib [@hito_lib]

Facebook： <https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library>